

県政報告

2月定例
県議会2009年
3・4月
発行

日本共产党福島県議会議員団
県内控室 福島市杉妻町2の1号
電話 024・521・7618
FAX 024・523・3256



「日本共产党福島県議会」で「検索」すると見られます。

国が補助金で誘導策

議長に申し入れる県議団（1月29日）



2月定例県議会に向けて知事申し入れを行う県議団 —— 左から佐藤雄平知事、神山悦子県議、宮川えみ子県議、藤川しゅく子県議。手前は秋山時夫総務部長（1月22日）

県民全体の「安全・安心」を優先し フルサーマル計画受け入れやめよ

各会派が質問を展開 知事答弁——慎重の上に も慎重に熟慮を重ねて

国のフルサーマル計画受け入れへの補助金による誘導策がとられる中、原発立地4町は、1月にフルサーマル計画の受け入れを決定し、県と県議会へフルサーマル計画受け入れのための議論を再開するよう要望が出されました。

党県議団は、1月29日に議長に対して「議論を再開すべきではない」との申し入れを行いました。

2月定例県議会では、神山悦子県議が、02年8月の東電の検査データの記録改ざん時の県と県議会の対応をあらためて示し、その後の東電のデータ隠しや原発震災などへの対応をみても信頼回復されておらず、フルサーマル計画を受け入れるべきでないと知事に質しました。

自民党や公明党は推進の立場で、この問題を取り上げました。

知事はそれぞれの質問に対し、「慎重の上にも慎重に熟慮を重ねて」との答弁を繰り返しました。

フルサーマルはこんなに危険

フルサーマル計画は、①制御棒の効き目を悪くさせ、毒性が強いプルトニウムは労働者の被曝をひどくさせるなど危険性を一段と増やします。②再処理などにもカネがかかりすぎて経済的にも資源的にもメリットはなく、③使用済みMOX燃料は、消滅年数が極端に長くなり、超ウラン元素が増えるため処分はいつそう厄介になるなど問題が増えるばかりです。

青森県六ヶ所村の高レベル廃棄物のガラス固化もことごとく失敗しているなど、使用済み核燃料の保存、処理技術も未確立です。しかも、フルサーマル計画導入予定の福島第一原発3号機は30年以上もたつ老朽原発です。この老朽原発でのフルサーマル計画は、安全性を無視した無謀なものではないでしょうか。原発に賛成の人も反対の人も「危険なフルサーマルやめよ」の声を一緒にあげていきましょう。



県の09年度予算を審議する2月定期県議会で、日本共産党県議団からは神山悦子県議、宮川えみ子県議の2人が一般質問を行い、総括審査会では藤川しゅく子県議が質疑に立ち、厳しい経済・雇用情勢のもとでの県政のあり方を質問しました。

雇守り農業、介護でも生活できる賃金保障を

神山悦子県議
一般質問
3月3日



宮川えみ子県議
一般質問
3月5日

立大野病院の移譲は県の責任放棄

質間に立った神山悦子
県議は、構造改革、雇用
対策、原発・ブルサーマル
問題、来年度予算編成、
教育行政などについて質
問しました。

知事「構造改革」 路線を批判

質間に立った神山悦子
県議は、構造改革、雇用
対策、原発・ブルサーマル
問題、来年度予算編成、
教育行政などについて質
問しました。

「雇用破壊」許さず 企業に申し入れを

雇用問題について内部
留保や配当の一部を使つ
て雇用を守り、「企業の社
会的責任」を果たすよう
求め、現行の派遣法の下
でも違法な働きかせ方があ
れば、県が企業へ雇用を
守ることを申し入れるよ
う求めました。



一般質問する神山悦子県議。(3月3日)

るとして、「機会を捉えて企
業にも要請していく。会
社更生法の適用申請中の
スパンショ・ジャパンへ
の今年度の補助金は見合
わせる」と答弁しました。

また、80年前の昭和
の恐慌のときにも、超党
派で討議したこと述べ、
今こそ党派や立場を超
えて県民の雇用と暮らしを
守るために力を合わせる
ことを場から呼びかけ
ました。

不要不急の 大型事業やめよ

神山悦子県議は、この
10年間で県内の世帯別
所得の統計では、300
万円以下の世帯が10%

以上も増加していること
を指摘し、不要不急の小
さな浜港東港（人工島）づ
くりや空港にぎわいづく
りへの新たな税金投入は
やめて、県民の暮らしを
応援すべきと求めました。

解雇強要する配置転換やめよ 富士通に申し入れ



会津若松市の富士通マイクロエレクト
ロニクスが岩手・若松・三重工場を含め
2000人の配置転換を発表しました。
2月18日、党県議団は会津若松市議
団とともに会津若松工場を訪問し、退職
を前提とした強制配置転換をやめるよう
要請しました。

富士通マイクロエレクトロニクス若松工場前で左から伊東市議、藤川しゅく子県議、斎藤基雄市議、神山悦子県議（2月18日）

委員会等の所属が変わりました

神山悦子県議：企画環境常任委員・議会運営委員

宮川えみ子県議：商劳文教常任委員・安全で安心な県民生活対策特別委員・エネルギー政策議員協議会委員

藤川しゅく子県議：農林水産常任委員・子育て支援対策特別委員・広報委員

医師確保へ、待遇改善策も

医師不足から地域医療の崩壊とも言われるなか、
医師確保の緊急対策事業として救急科や産科、麻
酔科など特に不足が指摘されている診療科対策で
特별手当などで医師の待遇改善を検討する医療機
関を支援するため、国の制度に県独自に約500
0万円を上乗せし、医師の確保を図ります。

小名浜港東地区人工島事業費

港湾港課資料より 日本共産党県議団作成			
事業計画総額	事業費総計	県負担分	県負担割合
94-07年度計	23,041	16,147	70.1%
08年度当初予算	4,220	2,164	51.3%
08年度9月補正	126	88	69.8%
08年度12月補正	250	108	43.2%
08年度2月補正	2,089	986	47.2%
08年度合計	6,685	3,346	50.1%
09年度予算	5,424	3,272	60.3%
計	41,835	26,111	62.4%

新年度も小名浜東港に大盤振る舞い
08年当初予算の28.5%増



宮川えみ子県議は、国の
示す『公立病院改革ガイド
ライン』は、国と地方の財
政負担を削減しようとする
ものである。この方向
で県立大野病院を福島厚生
連（双葉厚生病院）に移譲
する検討が進んでいますが、
県内で最も医療体制の弱い
双葉地域への県の責任を放
棄するものと厳しく指摘し
ました。これに対して県は、「医
師の絶対数の不足が必要
因」との認識を示すにとど
まりました。

二本松病院を公的病院と
しての存続を

新エネルギーは数値目標
を定めよ
新エネルギーは数値目標



（資料出所：福島県地球温暖化防止活動推進センター）



共産党（宮川県議）、自民党、県民連合の共同
で紹介議員になり、議長へ提出（3月4日）

全会一致
社会保険二本松病院の存続と充実を求める意見書採択
院の存続と充実を求める意見書採択

●採択された意見書6件（全会一致）

- △社会保険二本松病院の存続と充実を求める意見書
- △「緑の社会」への構造改革を求める意見書
- △「遠位型ミオパチー」の治療薬早期実現に関する意見書
- △障害者自立支援法の見直しを求める意見書
- △北朝鮮による日本人拉致問題の解決のため経済制裁の延長などを求める意見書
- △福島県最低賃金の引き上げと早期効発を求める意見書

●党が紹介議員になった請願・意見書の結果

○党県議団が紹介議員となった新規請願

・「子どもの医療費無料化年齢の引き上げを求める請願書」（新婦人県本部提出）は継続扱いとされました。

○党県議団が紹介議員の継続扱いの請願

- ・継続扱いとなっていた「教育充実を求める実行委員会」提出の請願書
 - ・「私学に対する助成の増額を求めるについて」
 - ・「私学の授業料軽減のための直接助成の実現を求めるについて」
 - ・「私学の3人学級実現のための助成を求めるについて」
 - ・「私学に対する施設・設備助成の実現を求めるについて」
 - ・「私立幼稚園に対する助成の増額を求めるについて」
 - ・「専修学校への補助金増額について」
- 以上の6件は党県議団だけの賛成で不採択になりました。



**最後のセーフティネット
生活保護の迅速な対応を**

藤川しゅく子県議は、景
気悪化の中でセーフティネ
ットの最後の砦としての生
活保護制度が重要になつて
いることを指摘しました。

「年越し派遣村」の実例
や、福島市での生健会のホ
ームレス支援の活動も紹介

しながら、住む場所のない
人の生活保護の速やかな
適用がされるようにすべき
ことを強調しました。

答弁に立った保健福祉部
長は、「転居を前提として一
時的に友人、知人宅などに
寄宿している経過的な状況
については生活保護適用は
可能」としました。

藤川県議は、盛岡市の例
を紹介し、納税相談の窓口
と多重債務整理の窓口が連
携した対応が必要だと思う
がどう考えているかを問
いました。

滞納者の中には、多重債
務に陥っているケースも少
なくありません。

藤川県議は、南相馬市大
甕地区産業廃棄物最終処分
場問題を取り上げ、事業者
が設置許可から10年もたつ
でいるのに提出が求められ
ている「誓約書」を出して
いないこと、事業者の弁護
士が、脱税の違法行為で逮
捕されていることなどを示
し、欠格要件に該当し設置
許可は取り消されるべきと
迫りました。

不況の中で県税の滞納者
が増加し、市町村が徴収
きれない滞納者は県が引き
受け直接徴収し、差し押
え、換価などをしています
が、徴収強化で問題は解決
しません。

**多重債務相談窓口と
収納担当の連携を
大甕地区処分場問題
10年も誓約書未提出！**

藤川県議は、南相馬市大
甕地区産業廃棄物最終処分
場問題を取り上げ、事業者
が設置許可から10年もたつ
でいるのに提出が求められ
ている「誓約書」を出して
いないこと、事業者の弁護
士が、脱税の違法行為で逮
捕されていることなどを示
し、欠格要件に該当し設置
許可は取り消されるべきと
迫りました。

生活環境部長は、関係部
署間の緊密な連携が重要で
あり、市町村に対しても効果

的に行われるよう支援する
と答弁しました。

生活保護は「派遣村」と同じ扱いを



新年度から妊婦健診が14回無料に
福島市をはじめ市町村では妊婦健診を無料にしているところが
増えてきました。
新年度からは、県が妊婦健診支援基金を創設し、無料妊婦健診
を実施している市町村へ14回分まで財政支援するため2億960
0万円を配分することになりました。

**許可以降の法改正踏まえ
厳正に審査、判断**
生活環境部長は、逮捕さ
れただけでは欠格要件には
該当しないとしながら、許
可時点以降の法改正の内容
も踏まえ、経理の基礎につ
いても、法の規定に照らし
て厳正に審査の上、判断す
るとしました。

市、議会も要望

一日も早い解決を！

**新婦人のみみなさんが子どもを
望む年齢拡充の要
望署名を提出（2月6日）**

活動報告写真館



雇用問題で2回目の申し入れ
(1月20日)



学ぶ集会で神山県議
（2月26日）
ブルサーマル計画の危険性